

平成 30 年度 研究活動についてのご案内および諸手続

☆平成 30 年度研究費予算執行については、課題の採択年度に関わらず、この手引を適用いたします。

総合研究所

1. 研究費の使途

今回配分された研究費は、学生の納付金、国からの私学助成金および本学の極めて貴重な財源からの支出です。研究遂行上、費用の効果的使用に十分配慮してください。

なお、研究所から研究費を受けた以上、「研究成果報告」の提出・発表は義務となりますので必ず行って下さい。これらの義務が守られない時には、研究費を返還していただく場合があります。

2. 研究費の使用手続

研究費の使用にあたっては、経理システム（GAKUEN-EX）に必要事項を入力し、印刷した申請書に必要書類を添付の上、総合研究所事務担当までご提出ください。

また、研究課題申請書および研究実施計画書に記載のないものについては、出金できませんのでご注意ください。

なお、「研究活動についてのご案内および諸手続」に記載のない事項については、他の学内研究費の使用要領に準じますが、研究成果発表に係る旅費を除く、すべての費目について毎年 3 月 10 日（休業日の場合は翌 11 日）を各種申請書の締切日とします。謝金についても、3 月 11 日以降の使用は認めませんのでご注意ください。

（領収書・請求書の日付は、3 月 10 日までとします。詳細は毎年度ご連絡いたします。）

3. 研究費の使用可否（前提として、研究課題の研究遂行上必要となる経費が対象です）

☆購入物品について、すべて検収検査員の納品検査が必要です

出 金 可 能	備品（10 万円以上）	備品・用品は、 <u>すべて管財発注</u> となりますので、申請書に見積書のみ添付して提出すること なお、消耗品についても、 <u>1 品 4 万円以上のものは管財発注</u> となるので注意すること。
	用品（4 万円以上）	
	消耗品	
	資料等印刷・複写代	
	運搬費	切手、実験用機器等の運搬費（宅配便代）を含む
	学会参加費	研究組織欄に記載されたメンバー(大学院生可)のみ対象
	論文掲載料・別刷代	対象となる論文に総合研究所に対する謝辞及び研究課題番号の記載があること
	論文等の外国語添削代	印刷済み別刷一部を研究所事務担当に提出すること
	旅費、交通費	研究組織欄に記載されたメンバー(大学院生可)の旅費
	実験協力者（被験者）謝礼	課題申請時に申請されたものに限る
	謝金	専門知識の供与や研究に必要な講演会の謝礼等(出金に際しては、講演会プログラム、知識供与の理由書等の添付が必要)
	備品修繕費	研究課題の遂行に必要な不可欠な機器備品であり、原則として取扱責任者が研究代表者となっているもの
	上記の他、研究遂行上必要とみなされる経費	

・出張に関わる旅費・交通費は、最も経済的かつ合理的な経路及び方法により算出して下さい。

出 金 不 可	<ul style="list-style-type: none"> ・中古品の購入 ・アルバイト代 ・懇親会費用 	<ul style="list-style-type: none"> ・手土産代 ・研究に必要な家電 ・保険料 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格受験料 ・パスポート申請(更新)費用
	※ 上記の他、課題申請書・実施計画書に記載のないものは出金できません。		

注意！

- ・特別学園研究費は年度毎に予算積算されるため、研究期間内であっても予算の繰越はできません。
- ・実施計画書に記載の無いものは出金できません。
- ・特別学園研究費（総合研究所研究費）は、経常費補助金（特別補助）の対象となっていますので、補助対象外の項目については出金できません。

4. 研究成果の報告

提出年月日等の詳細は改めて通知します。

種 類	提出時期（予定）	原 稿 枚 数
研究成果報告書（年報）	研究課題期間終了年の5月上旬	2 頁又は 4 頁の偶数頁

・総合研究所にご提出いただく研究成果報告書の内容は、専門的なものよりは一般の方にも解り易いものとしてください。研究成果報告書は「研究所年報」に掲載し、公的機関を含めて一般に公表します。

・研究課題の成果は、当該分野の学会誌・学術誌論文として公表することが強く望まれます。その際、必ず総合研究所研究費で行った研究であることを明記し（研究所への謝辞および研究課題番号を記載する）、発表論文の別刷 1 部を総合研究所事務室に提出してください。

【謝辞記載例】

- ◎ 本研究は、東京電機大学総合研究所研究 Q18X-00（研究課題番号）として行ったものである。
 This work was partially supported by Research Institute for Science and Technology of Tokyo Denki University Grant Number Q18X-00 / Japan.

なお、本研究終了時には成果報告書とともに、別に定める「自己評価報告書」を提出してください。

5. 研究発表会

研究発表会には必ず出席し研究の進捗状況を報告してください。原則欠席は認められません。総合研究所から口頭発表等の指示があった場合必ず発表を行って下さい。

種 類	開 催 日	発表方法等
研究成果発表会	※平成 30 年度は 8 月上旬に開催予定です。 ※成果報告書を提出した年に発表を行うこととなります。	詳細につきましては、後日連絡いたします。

以 上